



公印省略

24北筑保第5398号
平成24年10月22日

関係機関の長 殿

福岡県北筑後保健福祉環境事務所長
(健康増進課 健康増進係)

北筑後地域在宅医療支援センターだより第7号の配布について

日頃から、地域在宅医療の推進につきましては、ご理解とご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

このたび、在宅医療、在宅緩和ケアの普及啓発のため、センターだより第7号を発行いたしました。これは、管内、各医師会や介護事業者の団体等の活動内容の紹介や、北筑後地域在宅医療支援センターの活動をお知らせするものです。

ご高覧くださいますようお願いいたします。

福岡県北筑後保健福祉環境事務所
健康増進課健康増進係 担当 砂田

TEL : 0946-22-3964

FAX : 0946-24-9260

小郡三井医師会より

地域保健担当理事 白石恒明
会長 蒲池 壽

北筑後地域在宅医療支援センターだより

第7号（H24年10月発行）

平成24年度 第1回 北筑後地域在宅医療推進協議会を開催

平成24年7月27日(金)、平成24年度第1回北筑後地域在宅医療推進協議会を開催しました。この協議会も今年で3年目となり各関係機関の代表者も交替し、新しい顔ぶれの委員の方が多くなか活発な意見交換がありました。特に、管内でがんの終末期の患者さんがどのくらいいるのか、どのくらいの医療機関が訪問診療可能なのか、サービスの過不足などその実態がわからないとの意見がでました。

これらの意見をふまえ、今年度、管内訪問看護ステーションからがん終末期の在宅療養者の状況報告を依頼し、取りまとめた地域の課題や今後の取組みの参考にしたいと考えています。関係機関の皆様、ご協力よろしくお願いします。



平成24年度 在宅医療支援センター 今後の活動予定



○地域ネットワークの構築

- ◆地域在宅医療推進協議会の開催。（2回目：2月予定）
- ◇訪問看護ステーション連絡会で事例検討会。関係する職種の方の参加をお願いします。
- ◆保健・医療・福祉・介護等支援者の研修会を開催。（2回目：1月中旬予定）

○住民への普及啓発

- ◇市民講座を大刀洗町で開催。12月22日（土）14：00～16：00
- ◆在宅ホスピスボランティア講座の開催。（1月下旬予定）
- ◇民生委員会や各団体等へ出前講座の実施。（随時実施予定）
- ◆センターだより発行（年3～4回）。リレーメッセージへの寄稿などご協力をお願いします。

在宅医療推進協議会 新会長 ごあいさつ

今回 北筑後地域在宅医療推進協議会の会長を仰せつかりました白石でございます。現在、小郡三井医師会で地域医療担当理事をしております。国は来年度に向け医療計画の見直しを進めております。今回の見直しでは、以前からあるがん治療に加え、新規に在宅医療に係る医療体制の充実・強化が盛り込まれています。この医療計画とは、一定規模の一次医療圏を策定しその医療圏の範囲内で医療提供の自己完結を目指すことを求めています。北筑後地域在宅医療推進協議会は「誰もが望む場所で療養でき、最期を迎えることができること。



病院、緩和ケア病棟、自宅、その他の施設等療養の場所が選択できる」この地域を作るために活動しております。この事業が円滑に行われるためには、地域の医療機関、介護施設、行政機関等の皆様方の連携が何よりも大切だと思います。特に、在宅終末期医療については、医療保険介護保険等各種の規則、規定があり厳しい状況にあります。皆様のご協力で、最期は住み慣れた自宅で家族と共に療養したいと思われている方々の願いが叶えられるように努力していきたいと思っております。そのためには皆様のより一層のご協力をお願い申し上げます。

医療法人白石医院 院長 白石 恒明



リレーメッセージ 各地区の介護保険事業所の団体より

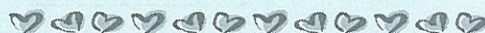
☆北筑後地域在宅医療推進協議会 委員 末次 道代

浮羽医師会訪問看護ステーション ケアマネージャー
(うきはブロック部会介護サービス事業所連絡会役員)

うきはブロック部会介護サービス事業所連絡会は平成 18 年にうきは市内で介護サービスを提供する事業所が介護サービスに関する情報交換やサービスの質の確保を図り、介護保険制度の円滑な実施に寄与することを目的とし、発足しました。現在はいきは市の運営法人 23 団体(事業所数 57)が加入、6 の専門部会・うきは市包括支援センター、うきは市役所保健課で構成しています。

平成 24 年度は北筑後在宅医療推進事業に参加、在宅支援、多職種連携の体制づくりをめざし、昨年度に提案があった徘徊ネットワークづくりに取り組んでいるところです。私の 14 年間の訪問看護の経験がお役に立てたらと思います。可能な限り、住み慣れた家で、必要な医療・介護サービスを受け安心して在宅生活を送るためには、かかわる職種が連携することが重要です。これからも地域の特徴を考慮し各機関との連絡体制を整え、徘徊ネットワークづくりを確立させ、在宅医療の多職種による連携支援につなげていきたいと考えています。

北筑後地域在宅医療支援センターの活動について



◆在宅緩和ケア支援者研修会(第1回)開催しました!

～「病院から在宅への連携」～

8月29日(水)に第1回を開催し、病院の医師やソーシャルワーカー、訪問看護ステーション、地域包括支援センターの方々など49名のご参加をいただきました。講師からは、がん拠点病院でのがんの相談状況や病院から在宅への流れについて、病院から在宅へ移行した事例の紹介などお話しいただきました。



田主丸訪問看護ステーション
永田所長さんからの事例紹介



★参加者アンケートより★

・ターミナルの患者さんは在宅は難しいと感じていたが、関係機関の支援により可能なことがわかった / 在宅へ帰れるにはどうしたらいいか一緒に考え、少しでも帰れるよう支援していきたいと思った。

◆在宅緩和ケアに関する市民講座を開催します。

日 時:平成24年12月22日(土) 14:00~16:00

場 所:大刀洗町ドリームセンター

内 容:シンポジウム

「あなたにとって幸せな最期とは」～豊かな時間を過ごすために



久留米大学病院
がん相談支援センター
黒田看護師さんからの講話

編集後記

北筑後管内は顔の見える関係づくりを大切に、皆様のご支援をいただきながら在宅医療推進事業に取り組んでおります。

4月から訪問連絡会、協議会、研修会等に参加させていただき、多くの出会いがあり、人と人、施設と施設が確実につながってきていると実感しております。6月に、病院から支援センターへ「本人が自宅に帰りたい」といっている

ので・・」との相談があり、病院と地域の関係者とのケア会議を実施し、在宅医、訪問、包括、居宅事業所にはケアの提供を快く引き受けていただきました。不安の中の帰宅だったと思います

がご家族からも「家に連れて帰れてよかった。」との声が聞かれ、感謝の気持ちでいっぱいになりました。

今後も地域の皆様の望まれる療養のお手伝いができることを願っております。

(T)